

デジタル田園都市国家構想交付金 〈デジタル実装・TYPE1〉 導入事例集

FUJITSU

本資料につきましては、
第三者へのご提供はお控えくださいますよう、
お願い申し上げます

Fujitsu Confidential

富士通Japan株式会社

© 2023 Fujitsu Japan Limited

事例一覽

分野	団体名	概要	当社関連ソリューション	デジ田
行政サービス	神奈川県川崎市	窓口業務のデジタル化	MICJETスマート窓口	
	東京都品川区	電子書籍AI検索サービス	MICJET 電子書籍AI検索サービス 戸籍	
住民サービス	滋賀県大津市	住民ポータルとポイントサービス	住民ポータル、地域ポイントValueFront 等	
教育	山口県山陽山田市	学校図書館、市立図書館の蔵書一元管理	WebiLis 等	R3補
	北海道神恵内村	教育DX	デジタルドリル、プログラミング教育支援	R3補
医療・福祉	M市	介護認定業務（認定審査会）のデジタル化	MCWEL 介護保険V2 電子審査会NEXT	
	福島県いわき市	介護予防業務DX	MCWEL 介護保険V2 介護予防AIスクリーニング	
	I市	介護認定業務DX	MCWEL 介護保険 訪問調査モバイル V2	
子育て	東京都港区	子育て支援DX	MICJET MISALIO 子ども・子育て支援V1 保育所AI入所選考	
交通・物流	某市	交通DX	オンデマンド交通サービス	R3補
防災・インフラ	某市	道路パトロール（道路修繕）	道路パトロール支援サービス	R4補
農林水産	宮崎県立農業大学校	スマート農業	施設園芸SaaS	
	某県総合農業試験場	リモート研究活用	施設園芸SaaS	
	某県	畜産地域課題対策	牛歩SaaS	
産業振興	福岡県大木町	地域ポイント	地域ポイント by ValueFront	

行政サービス

自治体窓口DX 事例

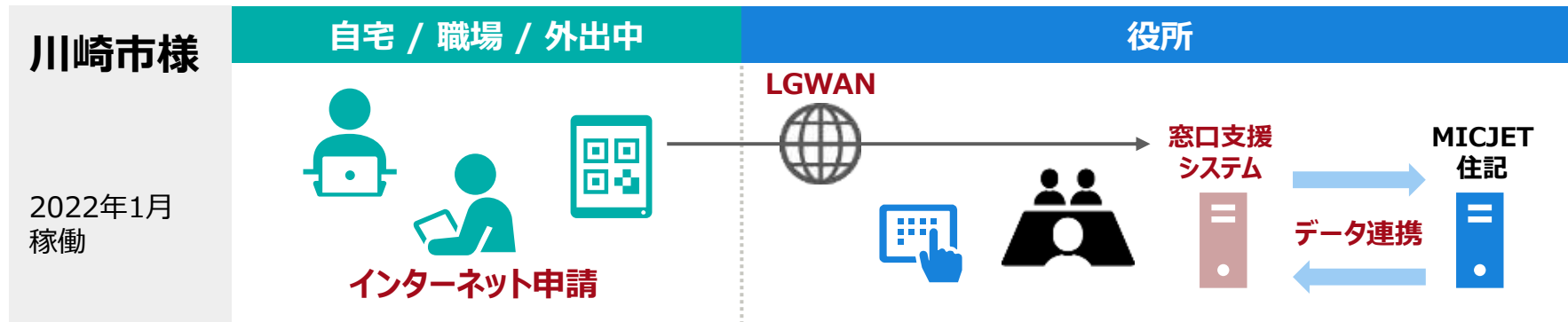
神奈川県 川崎市 様

川崎市では、「川崎市情報システム全体最適化方針」のもと、サーバの集約化や業務の効率化、費用対効果の最大化をテーマにデジタル化を推進

オンラインでの事前入力、ペーパーレスでの審査や確認、データの誤入力の排除などを目的に窓口業務のデジタル化へ取り組み



インターネット申請から住記連携まで導入し、窓口改善



■ 導入の背景

- 住民記録システム再構築時に、最新のICT技術の活用による市民サービスの向上と行政運営の効率化を目指し、窓口ソリューションを導入
- システム導入前に実証実験を行い、システムについての理解を促進

■ 弊社ご採用のポイント

- 実証実験による当社システムの導入イメージの醸成
- 住記システムとの相互連携をパッケージにて実現

MICJET 電子書籍AI検索サービス 戸籍 事例

東京都 品川区 様

AIを活用した検索サービスの導入で戸籍届書業務の処理時間を大幅に削減

従来、紙書籍で行っていた調査業務において書籍を電子化し、AIを用いた検索が可能になることで、業務効率化、負荷軽減を図ることが狙い



東京都品川区様の実証実験では約50%の時間削減効果あり

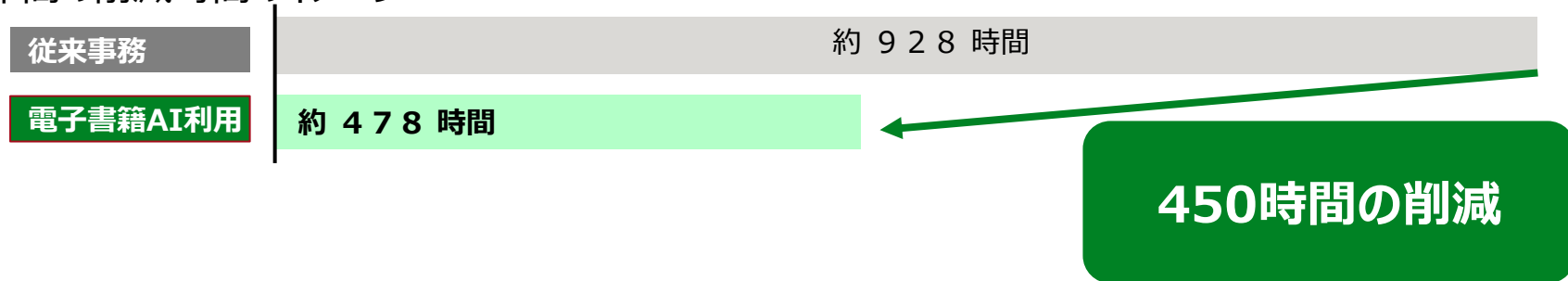
○ 効果測定の方法

- 戸籍届書の難易度（※）を3段階に設定し、それぞれの調査に係る標準的な調査時間と、【電子書籍AI検索サービス】を利用したケースにおける調査に係る時間を比較
- 1か月あたりの処理件数を150件とし、年間の削減時間を比較

※難易度の考え方

Lv : 1…念のための確認 Lv : 2…調査は必要だが1人で確認終了 Lv : 3…ベテラン職員に確認必要

○ 年間の削減時間のイメージ



住民サービス

住民ポータルとポイントサービス 事例

滋賀県大津市

様

住民とのつながりを強化し、地域活動
活性化に向けたポイントサービスの提供

- ✓ 地域活動促進を目的に、住民ポータル&地域
ポイントを活用
- ✓ データ連携基盤との連携により拡張性の高いポイント
サービスを提供(TYPE2,3への拡張性)
- ✓ マイナポイント交換によりマイナンバーカード利活用促
進にも貢献(予定)

住民ポータル&地域ポイントの概要

健康を維持するために外出・活動を促す仕組みとして、住民ポータルと地域ポイントを組み合わせた新たなサービスを提供

結果(成果)の見える化

- ✓ 楽しさ
- ✓ 継続性



継続参加の促進

- 貯まる楽しさをスタンプで見える化
- 複数回で一定のポイントを獲得できる仕組みとし継続性の促進を実現

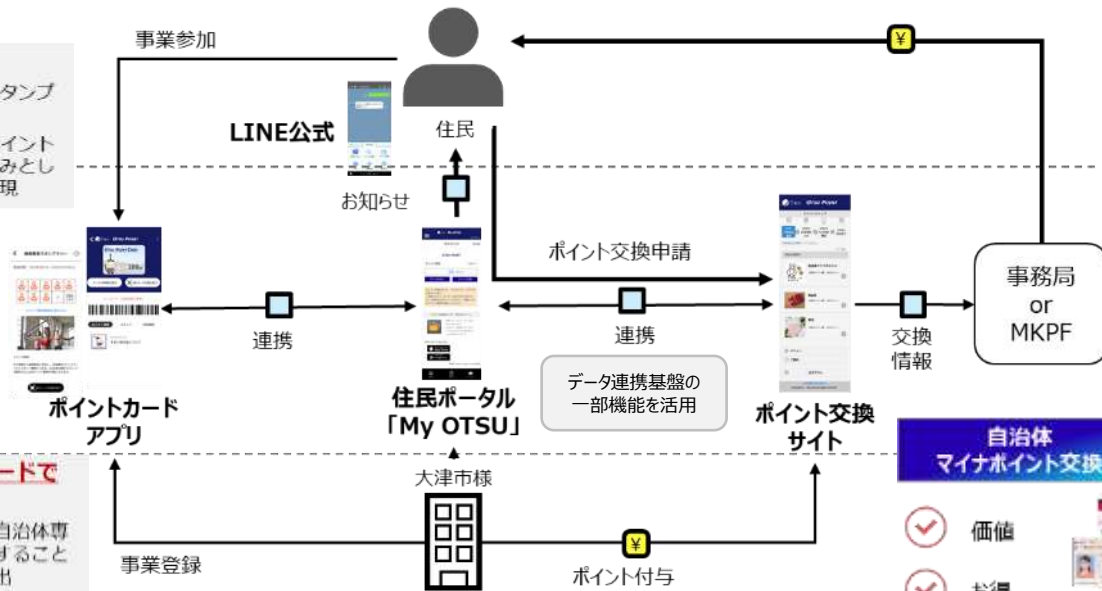
大津市様ならではの

- ✓ 特別感
- ✓ 独自性



大津市様専用カードで特別感を創出

- スマホアプリに自治体専用カードを作成することで、特別感の創出
- オリジナリティを演出



マイナンバーカードの価値が向上

- マイナンバーカードの使い道が増える
- キャッシュレスに交換ができお得

〔ご参考〕大津市様でのポイント活動について



大津市
地域ポイント

令和5年
3月6日(月)
9時～

OTSU POINT

が始まります
(おおつポイント)

大津市で活動して・貯めて・使える、新しいポイントサービス

OTSU POINT(おおつポイント)は、大津市が実施するイベントなどに参加してポイントを貯めて、自治体マイナポイントや野菜などの交換に利用できるものです。

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/001/1218/g/online/otsupoint/index.html>

ポイント付与事業

健康増進事業 (BIWA-TEKU連携ポイント)

BIWA-TEKUアプリで令和5年1月に商品の抽選応募されたものの、残念ながら落選された市民の方にOTSU POINTを付与します。

- ★申請期限
令和5年3月6日(月)～4月30日(日)
- ★申請方法
市ホームページをご確認ください



今後、順次拡大予定

令和5年4月以降開始の ポイント付与事業

- 介護予防・フレイル予防事業
- 生涯学習事業
- 生涯スポーツ事業

OTSU POINTを付与する対象事業の詳細等については、順次市ホームページでお知らせします。



制度等について詳しくは市ホームページをご覧ください。▶



2023年10月(予定)～
JA 野菜交換券
自治体マイナポイントに交換開始

教育

教育DX 事例

山口県 山陽小野田市 様

自校の1万冊の本にしか出会う機会が無かった小中学生が、市立図書館と市内17小中学校の図書館をシステム連携し、市内全域52万冊の本に出会える機会を得られた。

1万冊 → 52万冊

- ✓ 児童生徒は、市全体の本に出会える
- ✓ 学校図書館で地域コミュニティ活力向上
- ✓ 児童生徒の読書意欲の向上促進（将来）
- ✓ 地域に開放するためのセキュリティ強化（将来）

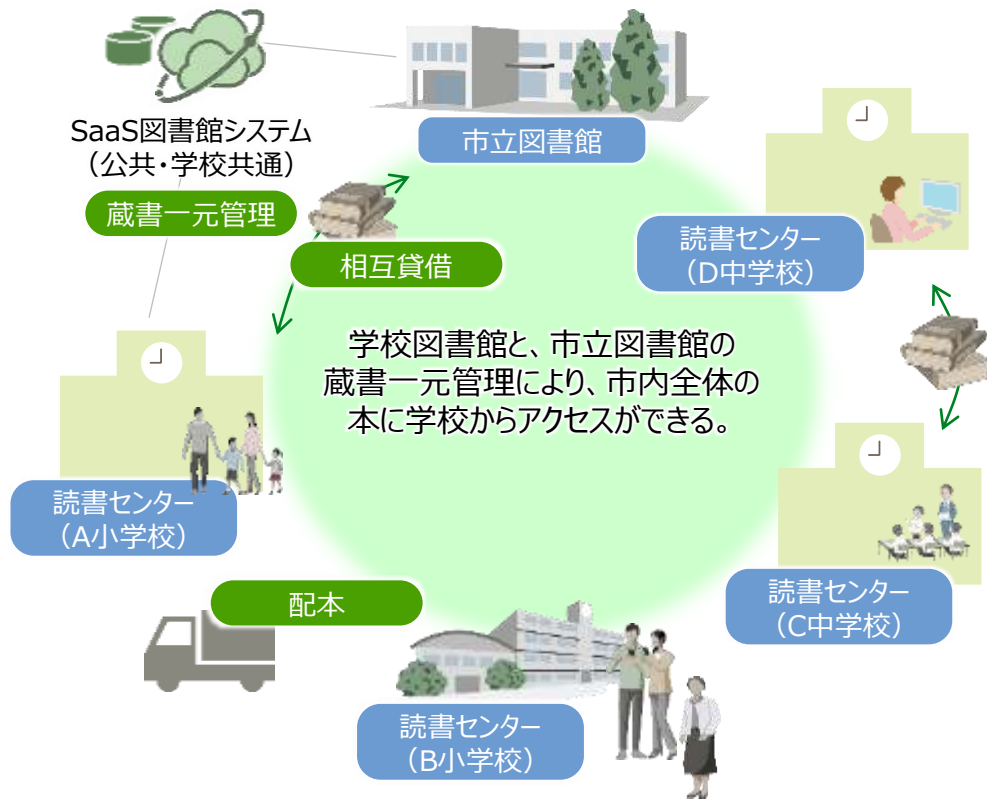


学校図書館の現状と課題 (→ 関連する基準、制度)

- 自校の本をシステムで検索できない (システム未整備)
- 学校間で本を検索できない (システム単校導入)
- 図書購入予算の抑制により、十分な本が揃わない
→ 学校図書館図書標準、学校図書館メディア基準
- 授業における学校図書館活用
- 使えない古い本が大量にある
→ 学校図書館図書廃棄基準
- 公共図書館から学校のシステム操作支援が困難
- 公共図書館から学校図書館の蔵書状況が分からない



公共図書館・学校図書館共通システムによる解決イメージ



学校図書館で地域コミュニティ活力向上

学校図書館を地域の「読書センター・学習センター」にすることで、市民は近隣の学校で市立図書館の本を検索し取り寄せたり返却することができます。
学校図書館が地域の様々な方が集まる「居場所」になります。



児童生徒の読書意欲の向上促進（将来構想）

学校では貸出冊数に応じたメダル表示や、貸出累積冊数表示により児童生徒の読書活動の推進に貢献。将来、読書履歴を印刷する読書記帳機を導入した場合、市立図書館の貸出履歴も合わせて記帳することができます。



公共図書館・学校図書館共通システムオフリング

- WebiLis基本システム（公共学校共通）
- クライアントライセンス（公共向け）
- WebOPAC追加オプション（公共向け）
- 学校接続クライアントライセンス（学校向け）

• LibReCoオプション（読書通帳機）

その他ソリューション、導入費、ハードウェア、ネットワーク等が必要です。

申請のヒント

背景

- 一部地域の過疎化により地域コミュニティの活力低下
- コミュニティスクールの推進
- 公共と学校で分断された図書館システム

構想

- 蔵書管理の一元化
- 学校に無い本を市立図書館や他校から借りられる
- 幼児や高齢者など近隣住民にも開放
- 市立図書館の電子書籍を学校のGIGA端末で利用
- 複本の購入管理による本の購入費抑制

教育DX 事例

北海道 神恵内村 様

15歳までに子どもたちが身に付けてほしいこと

知：自ら学び自分の考えを表現できる力

徳：相手の違いや良さを認める心

体：心身ともに健やかな体

地域：故郷を愛し行動する心

- ✓ デジタル教材による一人一人の学びをサポート
- ✓ プログラミング教育による論理的思考の育成
- ✓ 様々な角度からのキャリアの理解
- ✓ オンライン授業により、すぐれた講師をアサイン



神恵内からはばたく・神恵内に戻る デジタル活用小中一貫キャリア教育 ～ 神恵内U15（神恵内の子供たち）の未来を拓く教育の実現～

地域課題

「将来のキャリア情報が少ないため、勉強のモチベーションが低い」「他地域に比べ学習時間が少ない子供が多い」
➔ 神恵内村の実情に即したキャリア教育の実施と学習モチベーションを高めることによる学習時間の拡大

DXによる解決策

個別最適化
教員負荷軽減

デジタルドリル



効果・目標

GIGAスクール構想で配備された「一人1台端末」のフル活用

コミュニケーション力
向上

プレゼン授業



様々な角度からキャリア教育を実施し、将来の選択肢を広げる。デジタル教材の活用により児童生徒一人ひとりに個別に最適化された学びを実現させる。また、プログラミング教育により、論理的思考を育成する。
すべてにおいてデジタルを活用し、村にしながら最適な講師との接点をつくる。

論理的思考
デジタル人材の育成

富士通による
プログラミング学習



狙い

カリキュラムや学習の在り方のDXから始め、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立する

横展開

- ・公設塾での活用
- ・道内・道外 他地域での連携
- ・コミュニティDXとの連携

運営体制

神恵内村
(教育委員会)
事業主体

小学校

参画

参画

参画

中学校

支援・システムサポート

学校運営協議会
事業評価

富士通

支援・システムサポート

業務委託

1年目：事業実施・評価

2年目：1年目の改善点を活かし実施
自走化支援

3年目：自走化

「10年後の自治体の未来像」をビジュアル化し、コミュニティ/教育から着手

コミュニティ

村内の定期的なコミュニケーションをサポートし、地域の中のさまざまな活動の連携を促す。

①コミュニケーションの活性化

- 地域の身近な出来事を高齢者にも速やかに伝える
- 村民同士で見守ることができる仕組み
- 日常生活お困りごとの解決などに役立つ地域ぐるみの支え合い
- 温泉の復活
- 道の駅の拡充

教育

村に戻ってくる教育 & 村からはばたく教育の実現

- キャリア教育
- 遠隔教育
- コミュニティスクール
- プログラミング・動画編集
- ②近隣の村の子供たちとの交流
- 村外・道外との交流
- 世界の人とつながる

交通・防災

⑦移動のしやすさ

- 地域交通運営委員会の立ち上げ
- 地域交通の再編(神恵内村⇄岩内と神恵内村⇄川白の移動を自動化)
- ゼロカーボンバスの整備

⑧災害の監視と予測

- 村の今の状況、状態の見え易化、気づきから一足先の対策をする
- ドローンを活用し映像による状況、状態の把握

行政

⑨働き方の多様化

- リモートワークとオフィスワークを組み合わせたハイブリッドワーク
- ハンコレス、ペーパーレス、移動レス(オンライン申請)、キャッシュレス、本人認証

⑩スマート窓口

- 役場に行かなくても窓口手続きが可能になる
- 自治体業務をAIやRPAで効率化
- 業務効率化で考える時間を作り未来のまちづくりに時間を使う

医療福祉

子供からお年寄りまで予防歯科に取り組み。

③予防歯科

診療所に行かなくても遠隔での診療が可能に地域交通と連携し在宅医療を目指す

④オンライン診療

- 在宅医療 (モビリティ×医療 MaaS)

高齢者の方にも行政情報や身近な出来事などを速やかに伝え地域ぐるみで支え合う

⑤オンライン見守り

- 民生委員、社会福祉協議会の業務支援

産業

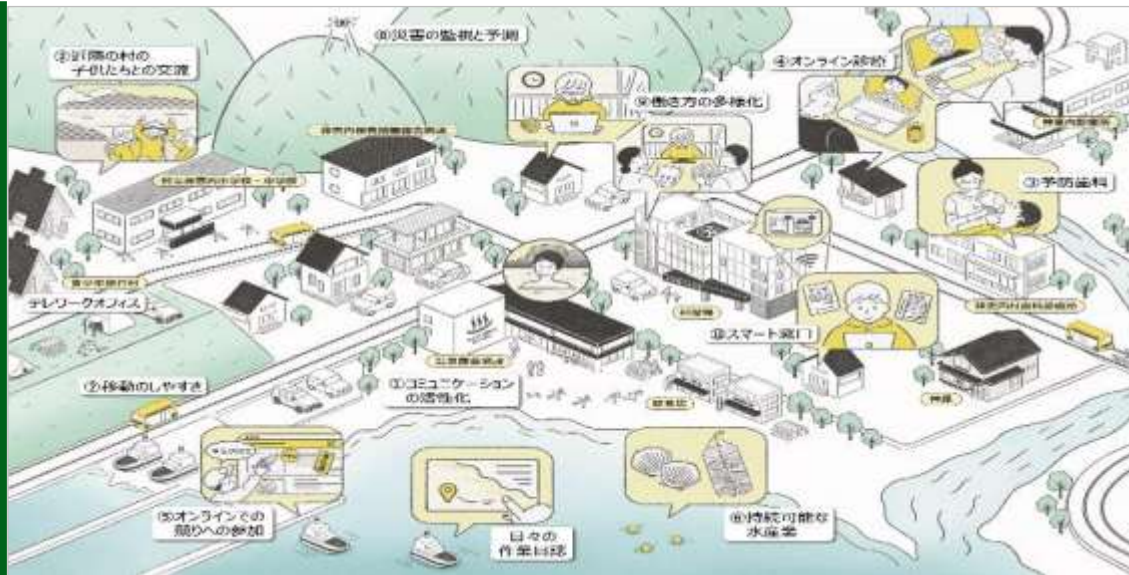
豊富な海産物と盛んな養殖業を全国的にPR。

⑤オンラインでの観光への参加

- 船上からオンラインの観光に出品

⑥持続可能な水産業

- 漁業と養殖業のブランド化
- 水産加工会社の設立
- 物流会社等と協業し新鮮な海産物を全国へ即配送

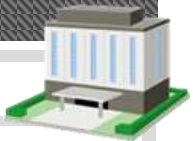


医療・福祉

M市様における認定審査会電子化の導入効果

◆ 電子審査会NEXTを活用した「リモート審査会」により、職員様・審査員様の働き方改革を実現！

M市様の介護認定審査における課題



- 審査会資料の印刷、送付、回収の**職員負荷が大きい**
- 紙、プリンタ（トナー、ドラムユニットなど）等の**経費がかさむ**
- 審査会資料の持ち運び、**紛失のリスク**がある
- 公共交通機関の遅延や渋滞により、開催に影響がある
- 密を回避するための審査会場の確保、換気、消毒などの配慮が必要である



職員様の声

- ・審査会資料の送付がなくなったことで、**職員負荷が大幅に軽減**された
- ・事前審査集計・共有を円滑に行えるようになり、**全会一致の場合の議論を省きやすくなった**
- ・会場の確保が**不要**になった
- ・合議体前後の雑談等もなくなり、**審査会運営全体に要する時間が短縮**された

効果

資料の送付がなくなり**事前準備/印刷コストの削減・紛失リスク回避**

事前審査の効率化による**審査会時間の短縮**

審査員様・職員様双方の**働き方改革を実現**



電子審査会NEXT マスコットキャラクター「でんしか」



審査員様の声

- ・在宅で子育てをしながらでも**参加できるようになり、非常にありがたい**
- ・出張中であっても場所さえ確保できれば参加できるので、**欠席することが減った**
- ・庁舎への移動時間がなくなり、審査会開催時間も短縮されたので、**本業に割ける時間が増えた**

介護認定業務（認定審査会）の デジタル化事例

M市 様

- ✓ M市様において、これまで紙資料・集合形式で開催していた介護認定の審査会をシステム化
- ✓ Web会議ツールとの併用で、合議当日を含めた認定審査会のフルリモート化を実現
- ✓ MCWEL介護保険システムV2 電子審査会NEXTを活用したリモート審査会により、職員様・審査員様双方の「働き方改革」に貢献



介護予防業務DX 事例

いわき市

様

要介護・要支援の認定者数増加に伴い、
社会保障費の増大、健康寿命延伸が課題
介護予防対象者の把握、アプローチが課題に

説明可能なAIが過去の膨大なデータを学習し、
将来の介護リスクの早期発見を支援
MCWEL介護保険V2 介護予防AIスクリーニング



いわき市様における介護予防への取り組み

課題



介護の必要性を申し出ていただけないと役所は住民の状態を把握できない

リスク把握困難

介護認定を受けていない高齢者の状態把握が困難

職員不足

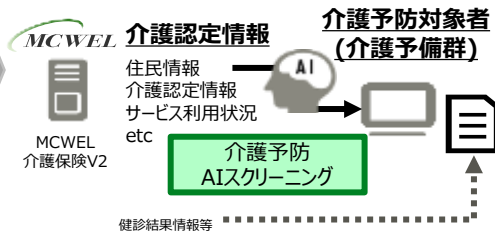
少ない職員で多くの高齢者をケアしきれない
全ての高齢者と接点を持つのは不可能

ノウハウへの依存

介護予防事業への誘導は
職員のノウハウに依存

スクリーニング

介護保険システムデータを
AIで解析、高齢者に対して
将来要介護になるリスク度合いを
算出



健康寿命の延伸で
介護給付費の適正化

取り組み



リスクのある方に健康なうちから
予防に取り組んでいただけるよう
フォローすることが必要

状態把握

スクリーニングでリスクが高い
介護予防対象者（介護予備群）を把握



効率化

リストをもとに訪問（アウトリーチ）、適切な
時期に効率的に支援、介護予防へ誘導

客観的

職員のノウハウに加えてAIの分析により
客観的観点で対象者絞り込み



介護認定業務DX 事例

I市 様

要介護・要支援の認定者数増加に伴い、
要介護認定に係る認定調査件数が増大。
認定調査業務の負荷増加が大きな課題に

タブレットを活用したシステム
「MCWEL 介護保険 訪問調査モバイル V2」
を導入
認定調査業務にかかる対応時間の削減を実現



I市様における認定調査業務にかかる対応時間の削減

導入前と導入後

帰庁後に手書きメモを見ながら文章を作成



記載レベルにばらつきや読みにくさが発生



キーボード入力が苦手...

【寝返り】

できない



【起き上がり】

つかまらないでできる

整合性チェックが目検...

訪問調査時にタブレットで選択形式のヒアリング



基本調査項目の設定と特記事項文章の**自動生成**
記載レベルの統一、記載内容**矛盾防止!**



音声入力で特記事項の文章作成!
移動の**待ち時間の有効活用**にも!



調査項目の回答の矛盾も
その場で**自動チェック!**

削減効果

認定調査票 作成時間の短縮

1件あたり約25分の作成時間短縮(※)

申請件数1,500件の場合、**月625時間**の削減

認定調査票 点検時間の短縮

1件あたり約3分のチェック時間短縮(※)

申請件数1,500件の場合、**月75時間**の削減

認定結果通知までの平均日数の短縮

導入前 52.5日 → 導入後 **48.5日**

平均 **4日**の期間短縮

(※)・・・導入自治体様平均値

© 2023 Fujitsu Japan Limited

子育て

子育て支援DX 事例

東京都 港区 様

港区では2018年度を「港区AI元年」と位置づけ、複数部署においてRPAやAIの活用を推進。

働き方改革による業務負担の軽減に対応すると同時に、自動化により業務量を減らすことで、よりよい区民サービスにつなげるのが狙い。

特に負担の大きかった保育園の入所選考作業（マッチング）の省力化に取り組むことに。



港区における入所選考作業の省力化

保育園の入所選考振り分けがわずか1分程度！スピードアップで区民サービスの向上を図ります。

港区の課題



2,900人分の入所申込みに対し、職員14名以上が手作業で振り分け。数日かかりきりになり、他の業務を圧迫していた。

入園希望順位やきょうだい条件など、入園要望が叶えられているか手作業でしか確認できておらず、精神的負担が大きかった。

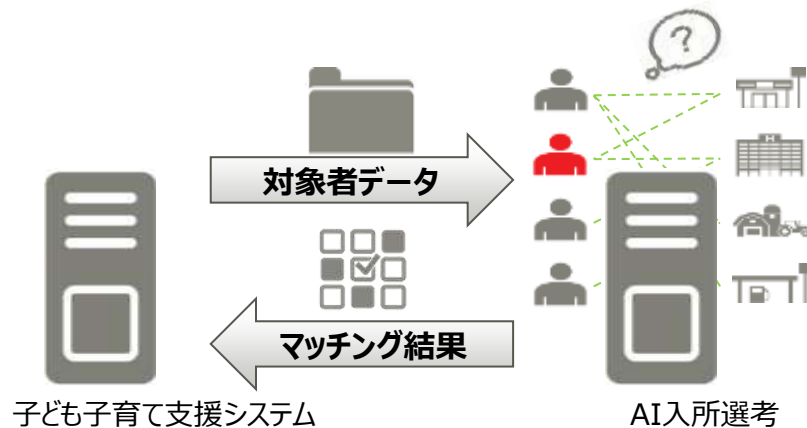
効果 ・ 期待

振り分け作業は約1分で完了し、期間短縮が期待される。
作業日数の削減により、決定日の前倒し効果が期待される。

職員の作業は情報の入力までとなり、情報管理に注力できるようになる。

AIマッチングの効果と期待

システムから入所選考に必要な情報を抜き出し、AIツールを実行。**数十秒程度**で結果の確認ができる。



交通・物流

交通DX 事例

某市

様

某市のまちづくりビジョン(交通施策)への取組み

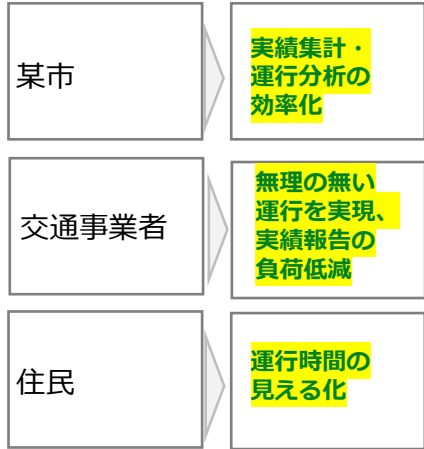
- ✓ 公共交通・徒歩・自転車と自動車連携・共存できる
バランスの取れた交通ネットワークの構築
- ✓ 地域内交通の持続可能な運行体制を構築するとともに、
鉄道やバスなどの既存公共交通との接続を強化
- ✓ 利用者の利便性の向上や運行の効率化



地域内交通の持続可能な運行に向けて

地域課題 「いつ迎えに来るかわからない」「どれくらいで目的地に着くかわからない」
➔ 運行時間の見える化により他公共交通との接続を強化し、地域内交通における利便性を向上

DXによる解決策



<目標>
地域内交通のデジタル化による管理者・運行者の負荷を低減し、住民が某市内をスムーズに移動できる

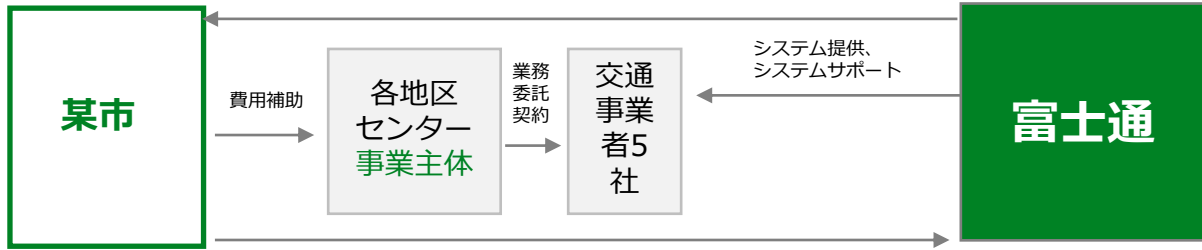
<効果>

- 紙媒体による実績集計から、システムの抽出データによる実績集計により自治体や事業者の作業を効率化
- 運行可能な範囲での配車を提示し、ドライバーに無理な運行をさせずに安全な運行を支援
- 送迎時間が把握でき、目的地までの到着時間を指定して予約ができることにより、他の交通との接続や病院などの予約にも間に合うことで利便性を向上

<将来展開、横展開>

- Web予約を中心としたオペレータレスによる地域内交通の運行
- LINEを活用したMaaSサービスの実現
- 隣接市町村の公共交通（LRT・電車・バス・デマンド）との連携
- 観光客が来訪しやすくなるような移動手段の整備・拡充

運営体制



<役割>

- システム提供、サポート
- 運行実績の分析、運行改善提案
- 他交通システムとの連携検討
- 某市MaaSの企画検討

防災・インフラメンテナンス

道路パトロール 事例

某市

様

道路管理業務のDX化推進

「舗装修繕計画を作るための路面調査のコスト削減と
日常パトロール業務・住民要望対応の効率化」

- ✓ 新技術、AIを活用した簡易路面診断の推進
(スマホ・ドラレコなど汎用機器の活用)
- ✓ 道路パトロール業務（委託）における活動内容共有
(報告書のクラウド上での連携)
- ✓ 道路に関する住民要望への迅速・確実な対応



「道路パトロール支援サービス（道パト）」を活用した道路維持管理のDX化

【背景・取り組み】

舗装点検業務

パトロール業務

住民要望管理

- ・従来の計測専用車両を使った舗装点検の外部発注は大きなコスト負担
 →スマホ・ドラレコを活用した**簡易路面診断**により低コストな点検を目指す
- ・土木部門の職員減少を背景に道路パトロール業務の委託化を決定
 →委託先との活動情報共有化により**スムーズな情報連携**を推進
- ・Excelの要望台帳管理は過去情報検索などに時間がかかり対応スピードに影響
 →受付・位置情報・対応結果などを一元管理し**対応レベルの向上**を狙う

R5～R7の3カ年予算化
 +
 デジ田TYPE1申請・承認

	業務内容	対応者	DX化ポイント	狙い
舗装点検	幹線道路を中心に舗装劣化状況を把握し、修繕計画策定に活用	【従来】外部委託 【今後】職員	高コストな外部委託から自前のできる簡易診断にシフト（計画策定のみ委託）	・コスト削減 ・短スパンでの路面状況把握
日常パトロール	管理路線全体を定期パトロールし、穴ぼこの補修、落下物回収など安全な状態を維持	【従来】職員 【今後】外部委託	委託先の活動記録のエビデンスとして日報作成ツールを提供しクラウドで共有	・委託先の活動把握 ・コミュニケーション効率化
住民要望対応	住民からの要望・苦情を受け、現地確認し対応処置	職員	受付～対応結果までをクラウドで一元管理し職員間で共有	・対応スピード向上、漏れ回避 ・住民満足度向上



農林水産

スマート農業活用 事例

宮崎県立農業大学校様

ICT活用で家畜ヒートストレスによる搾乳量・繁殖率低下を抑制する畜舎暑熱対策の取り組み

- ✓ THIの測定と変化率に応じたアラート通知
- ✓ THIの値と連動したFAN（風量制御）、ミストの制御による冷却対策
- ✓ アンモニア濃度測定による病気発症率削減に向けた取り組み

* THI : Temperature Humidity Index



ICTを活用した先進的な畜舎の暑熱対策を通し 即戦力として未来の農業を担う。

～見える化された環境データによって学習効果もアップ～



家畜の暑熱による影響

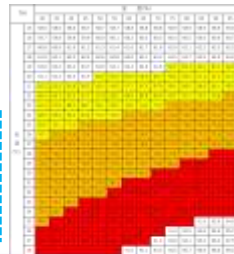
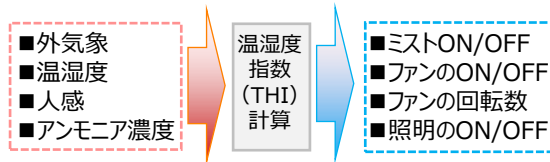


- 搾乳量の低下
- 繁殖性の低下
- 免疫能力の低下
- 乳房炎の発症
- 周産期疾病の発生

➤ THIの測定
➤ 変化率に基づく
冷却対策

夏場の暑熱対策を、状況に応じて可変制御 することで省エネ・夏バテ防止

温湿度等から温湿度指数THI(家畜の不快感指数)を計算し、制御に活用した暑熱対策



乳牛舎

リモート研究活用 事例

某県総合農業試験場 様

コロナ禍においても研究業務を下支えする
仕組みとして施設園芸SaaSを活用

- ✓ 研究ハウスのリモート監視・制御設定変更
- ✓ 環境データに応じた複合環境制御の実現
- ✓ 栽培暦に応じた栽培テンプレートを提供
- ✓ 研究業務で活用できる制御条件（演算機能）の提供



本場

県内のA町



56ハウス

亜熱帯作物支場

県内のB町



27ハウス

施設園芸
SaaS

1 研究業務を止めない。



- ✓ 24時間運用
- ✓ 365日運用
- ✓ 拠点-センター設置

2 リモート研究を支援。



- ✓ インターネット利用環境
- ✓ 5分毎のデータ更新
- ✓ 環境アラートの自動発信
- ✓ 遠隔設定/制御

3 分散する拠点・ハウス情報を集約。



- ✓ 分散ハウスの集中管理
- ✓ ハウス間の比較
- ✓ 相互チェックの仕組み

畜産地域課題対策 事例

某県 様

肉用子牛増産に向けた特産地域限定の 取り組み⇒発情検知システム牛歩SaaS

- ✓ 食を起点とした地域課題（高齢化等への対策）
- ✓ 黒毛和牛増頭に向けた県域全体の取り組み
- ✓ 県内特産地域登録のメリットを具現化
- ✓ 農家のQOL改善への足掛かり（休める農業）
- ✓ 導入効果が短期間で表面化⇒経営効率UP



和牛の地域ブランド化推進

○地域ブランド戦略／産地振興

○和牛の産地形成 品質・生産・出荷量の拡大（効率的な繁殖で経営者支援）

県単事業：地域特産品奨励事業

和牛



A市



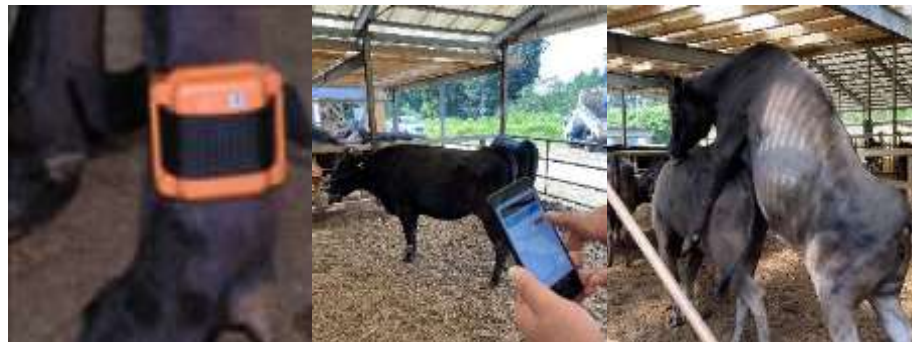
B村



C町



D町



歩数で発情検知/種付けのタイミングを逃さないIoT技術を提供

- 地域に強みとなるブランドを作る
- 地域産業を振興する

産業振興

地域ポイント 事例

福岡県 大木町 様

地域の経済の活性化や
住民の地域活動への参加促進へ

- ✓ 住民は地域活動への参加によるインセンティブ
- ✓ 店舗を運営する住民は、商品券の利用を通じて自店舗への集客
- ✓ 大木町は、住民属性やこれまでの活動参加状況などの情報に基づいて、住民にマッチした地域活動の情報発信



地域ポイント導入による地域経済と地域活動の活性化

1 ポイントを貯める

- ボランティア参加ポイント
- 検診受診ポイント
- 子育て世代転入ポイント
- 町の施設利用 etc…



2 ポイントを交換する

町内の加盟店で利用できる
商品券へ交換

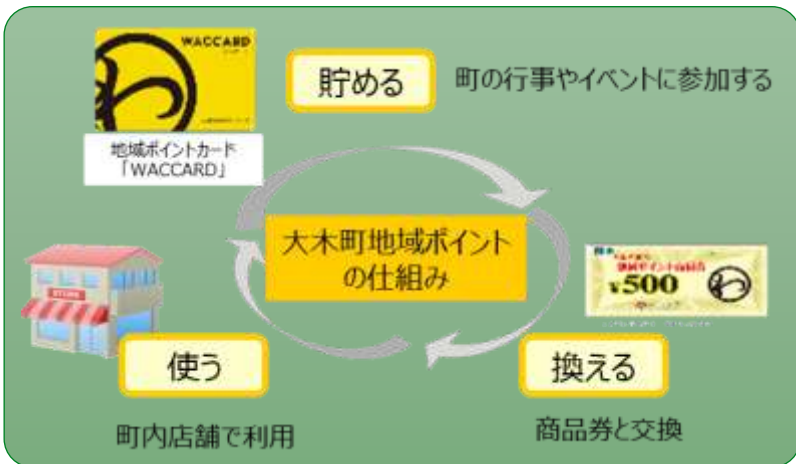


3 利用する

交換した商品券で
町内のお店でお買い物



約100店舗で
利用可能



ポイントをインセンティブに地域活動を推進し、付与したポイントは地域内で循環

Thank you

